

子育て王国めぐり



インタビュー
n t e r v i e w

輝いている人

ナショナルチームに入り
世界大会で優勝したい

3月29日から31日にかけて千葉県白子町で開かれた、全国小学生ソフトテニス大会の女子6年生シングルス部門で優勝したのが石井美々花さん（大会出場時、総社ジュニアソフトテニスクラブ所属）だ。

各道府県の予選を勝ち抜いた88人が出場。天候の都合で競技が1日のトーナメント戦となるなか、全7試合を勝ち抜き頂点に立った。「集中し過ぎて疲れを感じなかった」と振り返ると同時に、「練習の成果が出て本当にうれしかった」と笑顔を見せる。

決勝戦では、相手にマッチポイントを握られる苦しい展開に。「負けてもいい。思い切ってやろう」と、最後の試合にかけた強い思いで勝利をつかんだ。昨年の大会をベスト32で終えた悔しさがバネになり、弱気にならなかつたと話す。

ソフトテニスを始めたのは小学3年生。厳しい練習がつらいと思うことも。「でも、みんなと大好きなソフトテニスができると思うとがんばれる」と、はにかむ石井さん。「監督やコーチ、先輩や仲間、両親のおかげ」とも。心から楽しみ、感謝の思いを忘れないことが日本一の強さの源に違いない。

得意なプレーはサーブ。「もっと正確に打てるように」と長所を伸ばす。「ツイストボールも磨きたい」とチャレンジ精神旺盛だ。

4月からはソフトテニスの強豪校、就実中学校に進学した。目標は「全国中学校テニス大会優勝」。そして、「ナショナルチームに入り、世界大会で優勝したい」と意気込みを見せる。世界の舞台で光輝くために、さらなる努力を続ける。

石井 美々花さん（久米）

全国小学生ソフトテニス大会で優勝した



発達支援

サービス提供事業所では、集中しやすい環境をつくりワーク活動を行います。遊びを取り入れ、指先などの末端の発達を促します。

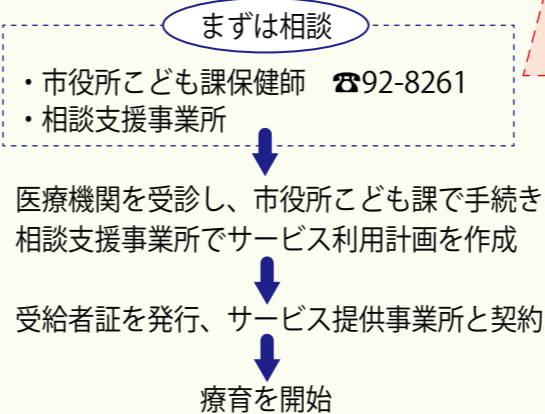


友達といっしょに遊べない、言葉がうまく話せない、食事やトイレの習慣がなかなか身につかない、少しのことでパニックになるといった、子どもの発達や特性に応じた支援を、サービス提供事業所で行っています。

このまま見守るだけでいいのかな、育て方はこれでいいのかなと、子どもの成長や発達に不安や心配があるときは、お気軽にご相談ください。

- サービス提供事業所ではこんなことをしています
 - ・生活習慣の獲得
 - ・コミュニケーション能力の向上
 - ・小集団での設定活動
 - ・ワーク活動
 - ・コーナー遊びなど
- ※利用料は世帯所得状況による一部負担です。

●サービス利用までの流れ



【市内相談支援事業所】

特定・障害相談支援事業所らぼーる ☎92-2384
相談支援事業所「あみーたⅡ」☎90-0907
総社市障がい者基幹相談支援センター ☎92-8555

【市内サービス提供事業所】

- ◆児童発達支援（就学前）
 - ・全日支援 総社はばたき園 ☎92-2384
 - ・時間支援
アイデイ ☎93-3311
かしゅかしゅ（総社はばたき園内）
学習支援くらぶくらら ☎95-2038
サポートセンター はるかぜ ☎96-2992
- ◆放課後等デイサービス（小学生以上）
アイデイ
学習支援くらぶくらら



アスパラガスサラダ



●材料（4人分）

- アスパラガス…40g ●ハム…40g
- キャベツ…100g ●ニンジン…20g
- 調味料…砂糖=大さじ1、しょう油=大さじ1/2、酢=小さじ1、レモン果汁=小さじ2、ゴマ油=小さじ1/2

●作り方

- ①アスパラガスは1センチ幅の小口切り、キャベツ、ニンジン、ハムは千切りにする。
- ②調味料はすべて混ぜ合わせる。
- ③沸騰した湯に、ニンジン、キャベツ、アスパラガスの順に入れ、歯ごたえを残すようにゆで、ザルにあげて水をかけてさます。
- ④材料をすべて混ぜ合わせ、②であえる。

その他の献立 カレーライス 牛乳 ヨーグルト